

# 岡山大学の特別選抜で SDGs の視点から出題

～地域・世界と共創できる「未来の SDGs 実践人」の選抜に向けて～

今後ますます深刻化する地球規模の課題に世界全体が取り組むため、国際社会は 2015 年の国連サミットにおいて、持続可能な世界を目指す 17 分野の目標(ゴール)とそれらの目標を達成するための具体的な 169 のターゲットから構成される「持続可能な開発目標(SDGs : Sustainable Development Goals)」を採択しました。

岡山大学は、その理念・目的である「高度な知の創成と的確な知の継承」と「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」に基づき、2017 年から SDGs 達成への貢献を本学の教育研究・社会貢献の全ての活動の中核におき、SDGs 活動を通じた地域や世界の多様な皆様とのパートナーシップを築いてまいりました。

本学が拠点とする岡山地域は、豊かな自然と歴史を持つとともに、古くから社会課題の解決に挑戦してきた地域であり、「社会課題解決の遺伝子」を受け継ぐ本学は、ESD(持続可能な開発のための教育)により、アジア初の国際的な知の共有プログラムであるユネスコチェアにも認定されています。本学では、現在各学部・研究科がその特色や強みを生かし、全学を挙げて SDGs 学習と研究を推進しています。

本学のアドミッションポリシーは、「本学の教育を受けるのに必要な資質と基礎学力を有し、本学のディプロマポリシーに掲げる学士力を身に付けたいという強い意欲をもつ人、グローバル化社会での活躍を目指す人」であり、多様な入試方法により国内外から広く受け入れています。

今回、本学の学校推薦型選抜や総合型選抜などの特別選抜において、SDGs の視点から出題を行い、世界共通の社会課題に関心を持ち、課題解決に意欲と探求心をもつ人を選抜する入試を実施することとしました。「持続可能な地球とより良き人類社会」の実現に向けて、岡山の地で共に本学の SDGs 教育研究活動に取り組む意欲のある皆さんの入学をお待ちしています。

岡山大学長

榎野博史



**SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS**

